



重症筋無力症患者のみなさま

プログラフを服用(使用)
されている方へ

プログラフとは？

- プログラフは、免疫に関与するT細胞に作用し、炎症に関わるサイトカインの産生を抑える免疫抑制剤です。
- プログラフは、重症筋無力症をはじめとして、臓器移植や骨髄移植、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎、多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に使われています。

プログラフの用法及び用量

通常、成人ではプログラフ3mg(カプセルまたは顆粒)を

1日1回、夕食後に服用します。

★プログラフを単独で使用した経験は少ないため、ステロイド薬を併用していない患者さんでプログラフ投与開始後に症状の悪化や体調の変化などがあらわれた場合には、主治医にご相談ください。

プログラムの主な副作用

次のような副作用があらわれる可能性があります。

- 高血糖・糖尿病
- 感染症
- 肝機能異常
- 腎機能障害
- 下痢
- 白血球増多
- リンパ球減少



気になる症状があらわれた場合は、 すぐに主治医に相談しましょう。

- 息苦しい・
つばが飲み込みにくい
- 全身の脱力感
- 熱や咳がでる
- 下痢
- 胃痛・腹痛
- 腹部不快感
- はき気・嘔吐
- 頭痛
- ふるえ
- 胸がドキドキする・痛い
- 血圧が高くなる
- ほてり
- かゆみ
- 脱毛
- 発疹

病院で定期的に検査を受けましょう。



- 耐糖能異常（血糖、尿糖など）
- 肝機能検査値異常
- 腎機能検査値異常
（血清クレアチニン）
- 白血球数異常
（白血球増多、リンパ球減少）

プログラムとは？

プログラム服用時の注意点

**必ず主治医の指示に従い、処方された
ご本人のみが正しく服用してください。**

服用する直前に包装から取り出して、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。

- **自分の判断で量や回数を変更したり、
服用を中止したりしない。**

自分の判断でお薬の服用を止めたりすると、症状が悪くなることがあります。

- **服用し忘れた場合**

その日のうちに気がついたときはできるだけ早く服用してください。

翌日気がついたときは、忘れた分を服用しないで、次の服用時間に1回分を服用してください。

絶対に、2回分をまとめて一度に服用しないでください。

- **高齢者の方の場合**

からだの機能が低下していることがあるので、とくに主治医の指示を守りましょう。

- **誤って多く服用した場合**

すぐに主治医または薬剤師に相談しましょう。

- **感染症の予防につとめる。**

風邪などの感染症にかかりやすくなるため、人混みを避けたり、外出後は手洗いやうがいをするなど、感染症の予防を心がけてください。



●他の医療機関を受診する場合

プログラフを服用中であることを必ずお伝えください。



●グレープフルーツ(ジュース)や一部のかんきつ類(ブタン、ハッサクなど)と一緒に服用しない。

一緒に服用すると、プログラフの作用が強くなることがあります。



●カンナビジオール含有製品と一緒に使用しない。

一緒に使用すると、プログラフの作用が強くなることがあります。

●セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む健康食品と一緒に服用しない。

一緒に服用すると、プログラフの作用が弱くなることがあります。

●以下の場合も必ず主治医にご相談ください。

- 以前にお薬を服用して発疹などが出たことがある方
- ほかにお薬を服用している場合や、新しい別のお薬を服用し始めようとするとき(薬局で買ったお薬も)
- 妊娠または授乳をする場合
- 予防接種を受ける場合



緊急時連絡先

● 病医院名